身近で手軽な大衆娯楽
パチンコ・パチスロ

山形県遊協

第３００号
2018年（平成30年）
８月号

○全日遊連通常総会
○全国理事会報告
○県理事会
○東北遊連定例会議

発行所　山形県遊技業協同組合　〒990-0057　山形市宮町5-10-19　電話023-615-6922　FAX023-615-6923
Eメール yamagata@zennichiyuren. or. jp　HP http://www. yamagatayukyo. jp/

県理事会

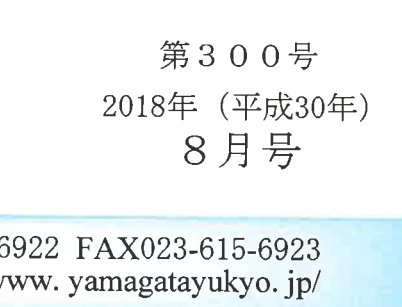
平成30年7月31日

○**理事長挨拶**
○総会出席・協力に感謝
○熱中症対策（室内外共に留意）

1　全日遊連通常総会

○全日遊連理事長再選
○阿部理事長挨拶
・今後2年は厳しい業界をどう対処するか熟慮する期間
・IR法（ギャンブル）に対し、パチンコ遊技は一線を画すことを国民に理解してもらう
○警察庁山田保安課長
・高射幸性パチスロ遊技機の削減目標の策定、リカバリーサポート・ネットワークへの支援、安心パチンコ・パチスロアドバイザーの配置など、業界一丸となって依存防止対策に重点を置きながら、健全娯楽となるための取組を一層推進してほしい
○井上理事長事業委員会委員に選任

（株）マルヰ　優秀賞受賞



2　全国理事会報告

○リカバリーサポート・ネットワークへの出向社員の募集
音量・光量の調整機能、高射幸性回胴式遊技機削減に向けた取組に関するアンケート結果等は、8月1日付けで発出済み

○全国社会貢献団体機構表彰式
株式会社マルヰ様が組合員ホール部門優秀賞受賞

3　協議事項

○最北支部事務長の勤務場所の変更及び最北事務所の移転（案）
・更なる経費削減及び業務の効率化を図るため

○就業規則の一部改正（案）
・お盆休み（8月13日から16日）を全日遊連に合わせる

○旅費規程の一部改正（案）
・通常総会に出席した組合員等への支給について、山形市内の組合員には1ホールにつき従来通りの支給に加え、1千円を支給することを明文化
・各種団体が開催する大会・イベントに参加した場合の報償費は一組合員につき、3千円

○東北遊連定例会議
・9月6日（木）午後2時から概ね午後5時まで
宮城県仙台市秋保温泉「ホテルニュー水戸屋」
議題　新規則下における遊技ファン拡大方策について

○大阪北部地震及び平成30年7月豪雨の被害府県遊協への災害見舞金の支出（案）
現時点、豪雨被害は12ホール
災害見舞金として、東北の各県一律40万円
240万円の支出内容は、大阪府遊協へ60万円、広島、岡山、愛媛県遊協へそれぞれ60万円（180万円）、

○健全営業大会・各支部研修会10月の開催（案）

日時	支部	場所
2日（火）午後0時	山形支部組合員・ホール	パレスグランデール
11日（木）午後0時	置賜支部組合員・ホール	グランドホクヨウ
12日（金）午後0時	庄内支部組合員・ホール	なの花ホール
16日（火）午後0時	最北支部組合員・ホール	天童ホテル

○次回理事会開催（案）
・9月28日（金）午後3時30分
鶴岡市グランド・エルサン
・全国理事会　9月21日（金）午後1時
第一ホテル東京

○協議事項は全て可決

○改正健康増進法の成立と影響
・ホールは、客室は勿論、事務室、従業員の更衣室、休憩室・食堂、会議室や駐車場等も含めて敷地内は全面禁煙としなければならず、喫煙が可能なのは「喫煙専用室」を設けた場合の当該専用室内だけということになる。
改正健康増進法では、「多数の者が利用する施設」を含めて「第二種施設」とし、いずれも敷地内を含めて全面禁煙としている。なお、加熱式たばこは全面禁煙の対象となる。
今後、厚労省内に委員会が設置され、政令等がつくられることから、動向を見ながら対策の準備が必要。

○会議・社会貢献活動
・日遊協東北支部　勉強会・実務セミナー・懇親会
9月7日（金）午後3時　仙台市パレスへいあん

・株式会社廣済堂「LEDエコシステム」のご案内
イニシャル費用は0円（工事費用、管球廃棄費用込み）・消滅された照明用電気料金の中からサービス料金を支払う・LED管球は無償譲渡・契約期間中の不点灯は全て無償交換・通常5年間の保証期間を6年間に延長等のメリットがある。
組合員の皆様、是非この機会にホールのコスト削減を見直しましょう。

・社会貢献活動
山形支部が山形地区防犯協会連合会（会長・佐藤孝弘山形市長）へ自転車盗難防止の看板、のぼり旗、広報用チラシを寄贈（7月24日付け山形新聞）
最北支部が防犯パトロール用青パトの青色回転灯を寄贈（7月21日付け山形新聞）
庄内支部が「明るいやまがた夏の安全県民運動」出発式及び「安全と安心のまち酒田市民大会」合同出発式にそれぞれ参加

○新規則下にける遊技ファン拡大方策について
一番大事なことは、業界団体が拡大方策を一致して共有する。特に遊技機メーカーが本当の拡大政策に何が重要かを、ホール団体と共有する。この辺の議論がまだまだ足りないように感じる。そのため、今後、「遊べる安心パチンコ」に本気で取り組むことを議論する。現台当たり売上げが半減した場合、店舗の売上げを減少しない経営は稼働率を2倍にする方法しかない。メーカーに台当たり時間売上げが半分になった場合、という覚悟があるか。本気で稼働率を2倍にする機械の開発をするため、もっと具体的な取り組みがあるはずである。
店舗側も2倍の滞在時間を楽しんでいただくための快適空間づくりや接客サービスの更なる充実を図る。今のパチンコは結果がでるまで時間とお金がかかり過ぎるという問題を抱えている。昔の業界のいい時代には、待ち合わせの時間でも楽しめるという台があった。電車の待ち時間でも楽しめて遊べる台もあった。勿論、当該台は稼働に貢献できても売上げには貢献できない。このような台こそ面倒がらずに安価でできる台にすべきである。パチンコ業界の敷居が高くなり過ぎてきているのでは。店舗は綺麗で大きくなったが、小銭を持って気軽に来る雰囲気は失われている。店舗側は安価でランニングコストも安い店が共存できるように、店舗展開の幅を広げて行く必要がある。
規則改正以来のホールの状況は、今までのように高価な台は必要な台でさえ購入できない程、ランニングコストを下げた店舗運営を求められている。ホールは勿論のこと業界全体で、もう一段のローコスト体制を構築する必要がある。いろんな角度で、いろんな集まりで、幅広く議論すべき時代がきたのではないか。
この前までは、子どもたちに後継をしてもらうにはという議論が沢山あったが、今はなかなか聞こえない。親が子どもに継がせることを諦める状況にあることも業界の将来に決してプラスにはならない。
加えて、ホールも人手不足が広がっている。この問題も含めて、将来の業界の中期・長期展望を議論すべき時期にきていると思う。

専務理事の部屋

『井上理事長談』

今回の理事会は、「新規則下にける遊技ファン拡大方策について」活発な意見が交わされた。
業界全体のもう一段のローコスト体制の確立。女性職員は敷居を低くし更なる女性客を増やすための環境整備（禁煙・音量）、主婦層を対象とした余暇時間を活かすためのちょっとした時間での遊技環境の構築。事務長は賞品取り揃えの充実。私はホールの独創性（オンリーワン）の創出、独立空間の確保（自店のピーアールは時機を捉えたもの、遊技台の位置構成、ユニホーム等）、ファン拡大のきっかけをつくるため、東北6県合同パチンコ・パチスロファン感謝デー及び全国パチンコ・パチスロファン感謝デーは、メディアへの広報充実などである。